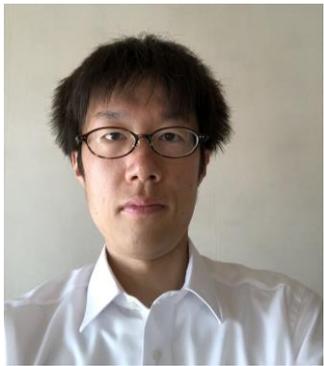


ふりがな 氏名	ふじい ゆうすけ	都道府県	東京都	
	藤井 裕介			
所属/肩書	環境省大臣官房環境経済課環境教育推進室 / 環境専門員			
私のESD活動	行政としての環境教育や環境の視点からの ESD 活動			
関心・活動の SDGs				

活動の概要

私は、行政として、より広く深く全国に環境教育やESDを普及・啓発するための施策担当として、日々、環境教育や環境の視点からESDの普及と啓発に取り組んでいる。例えば、全国の自治体の環境教育に関する行動計画の策定状況やその内容を調べて国の基礎データとしたり、ESDを推進している学校を訪問し、学校教育の中でのESDの取組について、実際の様子を把握したりしている。

環境問題を解決するには、人々の行動を変える必要がある。そこで鍵になるのがESDである。普及啓発として、今年度、小学生向けの環境教育パンフレットの作成を行ったが、ESDの視点からSDGsの達成に向けた行動が自然に促されるように構成を工夫している。ESDの本質は、知識だけでなく、実践することで、生活スタイルがより持続可能なものに変化し、継続されていくことが必要で、そのためには子どもの時からESDの考え方を身近に感じてもらうことが大切だと考えるからである。また、子どもだけでなく、大学生やユース世代への働きかけも必要だと考えている。今後、月に1回程度、サークルやNPO等で環境活動に関わっている大学生・ユースを対象に、ユースと環境省職員、NPOが集まり、将来の環境政策を考えるワークショップ及び交流会を企画・実施していく予定である。若い世代の考えも施策に反映させられるような機会を作り、すべての世代にESDを普及させることを目指している。

今後の活動の展望と周囲や社会への還元

私は、環境問題をはじめ、地域にある多くの社会課題を解決しようと行動するユースを増やしていきたいと考えている。

ESDに力を入れている学校の公開授業を視察した際には、ESDの考え方に基づいた、探検や読書を題材にした授業が行われており、ESDには環境以外にも切り口があることを体験した。ESDは環境、経済、社会の統合的な発展を目指すものであり、同じESDでも考え方や取り組みが違うということに改めて気がついた。

今後の活動としては、例えば、月に1回程度大学生やユース向けの環境教育イベントを企画・開催し、イベントの参加者とコンファレンスの仲間をつなぎ、双方がESDの視点で課題解決のためにどうしているかを共有できるようにしたい。コンファレンスの仲間が、ファシリテーターとしてグループワーク等に参加したり、参加者がそれぞれの興味関心のある分野を持ち寄って議論したりすることで、意見交換から具体的な行動を促すという流れを作りたい。ユースの行動が社会全体に波及し、さらなる行動を促し、それがSDGsの達成につながるのではないかと考えている。